

## 今年度の活動

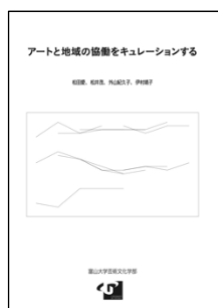
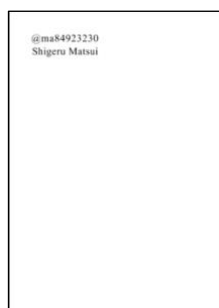
2021 年度は、採択された「メディア技術の諸相を主題にしたテレビ・ドラマの自己省察的表現の研究」(放送文化基金)と、「パレオ TV と建築——メディア・イベントの設計者としての磯崎新」(窓研究所)を中心に個人研究を展開した。この 2 つの研究は、21 年 3 月に刊行した『虚像培養芸術論 アートとテレビジョンの想像力』(フィルムアート社)の展開である。前者の研究は 2010 年代のテレビ番組がインターネットの影響をどのように吸収し、業態としての変化を踏まえ、どのような表現を展開してきたかを研究した。研究活動の一環として、「iamas open\_house: 2021」(オンライン開催)にあわせて、研究計画のプレゼンテーションと、社会学者の田中東子(大妻女子大学)とのディスカッションを公開した。後者の研究は、磯崎新の思想性をポスト・メディア論から構築する試み。『PFF スペシャル映画講座』に際して、磯崎新が美術協力で参加した映画『他人の顔』について、音楽家の長嶋寛幸(東京藝術大学)とレクチャーした。今年度の調査研究を踏まえ、次年度以降にいずれも論文化する。

2020 年度に松田愛(富山大学芸術文化学部)が代表を務める『アートと地域の協働をキュレーションする』に参画し、レクチャー、ディスカッション等を重ねてきた。芸術体験をめぐる議論を編集し刊行した。これに付随するかたちで「奥能登国際芸術祭 2020+」、「建築家・坂倉準三「輝く都市」をめざして」に関する評を書いた。

作品として、Twitter を支持体にして制作した詩を『@ma84923230』として刊行した。

2001 年から継続して制作している「純粹詩」が、West Museumkwartier で開催された展覧会“ALPHABETUM IX L'ÉCRITURE AVANT LA LETTRE”で展示された。

学内では、担当授業の研究教育活動、担当学生の指導の他、研究委員会(委員長)、オープンハウス実行委員会(委員長)を務めた。





## 作品

[展示]"[ALPHABETUM IX L'ÉCRITURE AVANT LA LETTRE](#)," West Museumkwartier  
(Den Haag), 09.10.2021 — 27.03.2022

[詩集]"[@ma84923230](#)』engine books - difference、2021 年 12 月

## 書籍

・松田愛、松井茂、外山紀久子、伊村靖子(共著)『[アートと地域の協働をキュレーションする](#)』富山大学芸術文化学部、2022 年 2 月 28 日

## 寄稿

・[「西 2 丁目地下歩道映像制作プロジェクト\(大木裕之、野口里佳によるアーティストトーク 聞き手: 松井茂\)」](#)『札幌文化芸術交流センター SCARTS 活動記録「SCARTS 2020 Annual Report」』札幌市芸術文化財団、45-59 頁、2022 年 3 月 31 日。

・「方法詩の実践と社会との関わりについて」『アートと地域の協働をキュレーションする』富山大学芸術文化学部、2022 年 2 月 28 日。

・「私的芸術体験試論」『アートと地域の協働をキュレーションする』富山大学芸術文化学部、2022 年 2 月 28 日。

・「記憶の拠り所となる都市を培った人々の物語」(『建築家・坂倉準三「輝く都市」をめざして』)『週刊読書人』(3427) 2022 年 2 月 11 日。

・[「さびしみつつ新しむ——「奥能登国際芸術祭 2020+」の場所と芸術とそれをめぐる人々」](#)(展評:「奥能登国際芸術祭 2020+」)『美術手帖 web』2022 年 2 月 10 日。

・[「メディアの変化が再発明したテレビドラマと新たな芸術家像」](#)(書評:『脚本家・野木亜紀子の時代』)『週刊読書人』(3408) 2021 年 9 月 24 日。

・[「第三の軸」を再配置する](#)(書評: 飯田豊『メディア論の地層』)『立命館アジア・日本研究学術年報』2、136-138 頁、2021 年 7 月。

・パネルディスカッション「晩年の岡井隆をどう評価するか」小池昌代、平田俊子、藤井貞和、松井茂、江田浩司『現代短歌』136-138 頁、2021 年 7 月号

## 発表

2021 活動報告書 松井茂

・「勅使河原宏の音と空間」『PFF スペシャル映画講座』で長瀧寛幸(音楽家)と対談。国立映画アーカイブ、9月23日。

・「松井茂、田中東子さんにテレビドラマ研究を相談する」『iamas open\_house: 2021』で田中東子(大妻女子大学)と対談。7月22、23日にオンラインで公開。

### 社会的活動

[公益財団法人放送文化基金放送文化基金]「メディア技術の諸相を主題にしたテレビドラマの自己省察的表現の研究」。

[窓研究所研究助成]「パレオ TV と建築——メディア・イベントの設計者としての磯崎新」。

### 学内の活動

[プロジェクト] Archival Archotyping、タイムベースメディア・プロジェクト

[授業] 総合学 A、メディア表現特論 A

[編集] 『情報科学芸術大学院大学[IAMAS]紀要』vol.13 2022年3月(80頁)